

1株当たり四半期純利益(円)

2022年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

■売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。

(%表示は対前年同四半期増減率)

◇売上高	11,207 百万円	5.0 %
◇営業利益	921 百万円	15.3 %
◇経常利益	951 百万円	4.0 %
◇親会社株主に帰属する四半期純利益	661 百万円	7.6 %

	損	益の状況					■売上高
	2022/3期	2021/3期	前年同期比		2022/3期 通期		一ルエ 売上高は、112億7百万円となり、働き方改す および新型コロナウイルス感染症対策の一環と
(単位:百万円)	第1四半期 第1四半期 増減家(%) 業績予想 光	進捗率(%)	て堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構				
売上高	11,207	10,674	532	5.0	67,000	16.7	ティソリューションに加え、3 K(スリーケー)※1 を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図 たことで、前年同期比5億3千2百万円(前4 同期比5.0%増)の増収。
売上総利益	2,995	2,763	231	8.4	-	-	
販売費及び一般管理費	△ 2,074	△ 1,964	△ 109	5.6	-	-	
営業利益	921	798	122	15.3	11,450	8.0	
営業外収益	31	116	△ 85	△ 73.1	-	-	
営業外費用	△ 1	△0	△0	89.7	-	-	
経常利益	951	914	36	4.0	11,500	8.3	となり、前年同期比3千6百万円(前年同期
特別利益	0	0	0	-	-	-	4.0% 増)の増益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億6千1百万円となり、前: 同期比4千6百万円(前年同期比7.6%増)の増益。 ※13K(スリーケー):「KEL Briefing Center(KBC)」、「KEL Custom Clou(KCC)」、「KEL Managed Service(KMS)」から成るサービスビジネス群
特別損失	△ 1	△0	△ 1	-	-	-	
税金等調整前四半期純利益	950	914	35	3.9	-	-	
法人税等	△ 290	△ 299	9	△ 3.0	_	-	
四半期純利益	660	615	44	7.3	-	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	661	615	46	7.6	7,700	8.6	

1.63

7.6

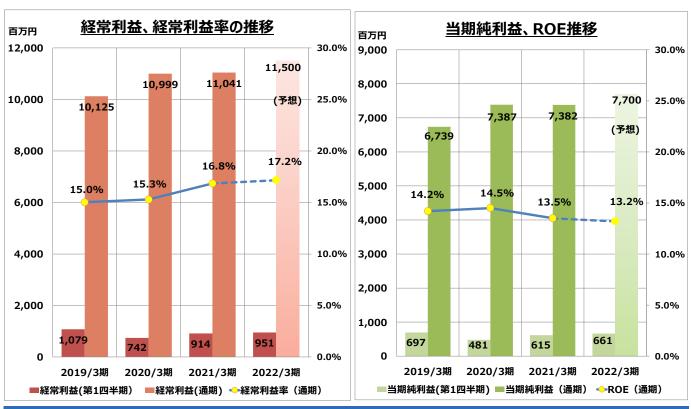
	セグ	メント情報	₹				
	売上高			セグメント利益			
(単位:百万円)	2022/3期 第1四半期	2021/3期 第1四半期	前年同期比	2022/3期 第1四半期	2021/3期 第1四半期	前年同期比	■システム事業 セキュリティ関連事業やネットワーク関連事業が堅
システム事業	6,544	6,334	209	53	112	△ 58	調に推移したことなどにより、前年同期比2億9 百万円の増収。
サービス・サポート事業	4,752	4,421	331	832	677	154	-) CX JA 1 + A
計	11,296	10,755	540	886	790	96	システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス 関連の売上が増加したことなどにより、前年同期 比3億3千1百万円の増収。
その他(含む調整額)	△ 89	△ 81	△ 8	35	8	26	比3183千1日万门の培収。
合計	11,207	10,674	532	921	798	122	

21.51

23.14

資産・負	債及び純				
(単位:百万円) 総資産	2021/6末	2021/3末	前期末比	増減率(%)	■資産 流動資産は、受取手形及び売掛金が87億2千1百万円減少したことなどにより、前期末比56億5千7百万円(前期末比8.2%減)の減少。
	69,877	75,164	△ 5,287	△ 7.0	固定資産は、投資有価証券が4億7千2百万円増加したことなどにより、前期 未比3億7千万円(前期未比6.0%増)の増加。
流動資産	63,324	68,981	△ 5,657	△ 8.2	■負債
固定資産	6,553	6,183	370	6.0	流動負債は、支払手形及び買掛金が26億3千万円減少したことなどにより、 前期末比40億8千4百万円(前期末比25.1%減)の減少。
負債	14,824	18,749	△ 3,924	△ 20.9	固定負債は、その他の固定負債が1億6千万円増加したことなどにより、前期 末比1億5千9百万円(前期末比6.5%増)の増加。
流動負債	12,218	16,303	△ 4,084	△ 25.1	■純資産
固定負債	2,606	2,446	159	6.5	純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千1百万円の計上による増加と、配当金20億2百万円の支払いによる減少などがあり、前期末比
純資産	55,053	56,415	△ 1,362	△ 2.4	13億6千2百万円(前期末比 2.4%減)の減少。 なお、自己資本比率は78.7%となり、前期末比3.7ptの改善。
自己資本 (注1)	55,001	56,361	△ 1,359	△ 2.4	·
自己資本比率 (注2)	78.7%	75.0%	3.7pt改善	-	

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産



配当の状況									
	2022/3期	2021/3期	2020/3期	2019/3期					
中間配当	70円(予想)	65 円	65 円	55 円					
期末配当	70円(予想)	70円	70 円	70 円					
年間配当	140円(予想)	135円	135 円	125 円					
自己資本(百万円)	_	56,361	52,863	49,369					
配当性向(%)	52.0(予想)	52.3	52.3	53.0					

*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。